

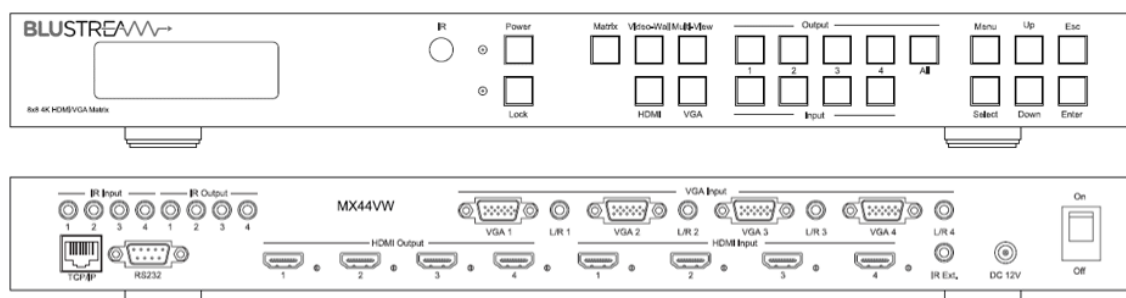
Blustream

4 入力 4 出力 HDMI/VGA

マルチビューワ & マトリックススイッチャー

「MX44VW」

取扱説明書



改定履歴

バージョン	提供日	変更点
Ver.1.0	2022/3/31	初版
Ver.1.1	2022/4/21	同梱品の変更
Ver.1.2	2023/06/30	連絡先情報の更新

安全上のご注意



この度は、MX44VW をご購入いただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使い方と使用上の注意事項について記載しています。


本製品をご利用になる前に必ず本書をお読みになり、内容をご確認のうえにご利用ください。本製品を安全に正しくお使い頂き、お使いになる方や他の人への危険、財産への損害を未然に防止するために守って頂きたい事項を示しています。

安全にお使いいただく為に

誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を次の区分にて説明します。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重症に結びつく可能性があるもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに軽症または建築物・財産などの損害に結びつくもの。

本取扱説明書内に使われている記号(例)の意味は下記の通りです。

	操作に関するヒントまたは追加情報です。
---	---------------------

**警告**

- 本製品は屋内での使用に限ります。
- 本取扱説明書で記載されている以外の使い方をしないでください。本取扱説明書の指示に従わずに起きた、いかなる事故・損害に対して、弊社は一切責任を負いません。
- 機器内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災の恐れがあります。上記の状態になった場合はすぐにご使用を中止し、販売店または弊社カスタマーサービスにご連絡ください。
- 本製品および、使用するケーブル類を他の高温部(暖房機器など)に近づけないでください。変形したり、保護部が溶けたりし、感電や火災の恐れがあります。
- 本製品の分解、改造は絶対に行わないでください。機器の故障や感電、火災などの恐れがあります。使用中に本体から煙が出たり、異臭・異音等が発生したりする場合は、すぐに使用を中止してACアダプターおよびご使用のすべてのケーブルを抜き、販売店または弊社までご連絡ください。
- AC アダプターを抜き挿しする場合は、必ず挿入部を持って抜いてください。コードを引っ張って抜いたりすると、ケーブルの断線、動作不具合、感電や火災の恐れがあります。

**警告**

- 濡れた手で、本製品およびケーブル類を触らないでください。感電や故障の恐れがあります。
- お手入れの際は、接続ケーブルをすべて抜いてから行ってください。また、科学雑巾、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。水洗いは絶対に行わないでください。変色や変形、故障の原因になります。汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に付けてよく絞ってからふき、その後乾いた布で水分を拭き取ってください。
- 本製品は安定した場所に設置してご使用ください。不安定な場所から落としたり、ぶついたりするなどの衝撃を与えないでください。故障や破損の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のためACアダプター、ケーブル類を全て抜いて保管してください。火災や故障の恐れがあります。
- 本製品は直射日光にあたる場所や、冷暖房機器の近く、温度の高い所(結露しているところ)、ほこりや油、薬品、水などがかかる場所には設置しないでください。

 **注意**

- ACアダプターの取付け取外しの際は慎重に作業を行ってください。機器の故障の原因となります。
- 付属ACアダプターは専用品です。他社製品はご使用になれません。
- LANケーブルは、電気ケーブル、変圧器、照明器具などの電波干渉の発生源となりうるものから、できるだけ離れた場所に配線するようにしてください。また、これらのケーブルは、電線用導管などに接続したり、電灯設備の上に置いたりしないでください。
- LAN ケーブルを束巻き状態で使用すると伝送に影響が出ることがございます。伸ばした状態で御利用下さい。
- 本製品を密閉された場所、屋外での使用や、長時間の連続使用は避けてください。
- LAN ケーブルは必ず単線仕様のケーブルをご利用ください。撚り線仕様のケーブルでは動作を保証致しかねます。
- 接続するHDMI ケーブルは長さ 5m以下、VGAケーブルは長さ 3m以下のものをご利用ください。

 **注意**

- 本製品両側の排熱口を塞がないようにしてください。排熱がうまくいかずに故障する恐れがあります。また、排熱口を定期的に掃除してください。
- 本製品を譲渡された場合、または中古品に関してのサポートは致しかねます。
- 外部的な要因(破損や水没、漏電、過電流など)や、天災などによる故障破損は、サポート対象外です。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。内容については、各地方自治体へお問い合わせください。
- 電源を入れたまま、ケーブルの抜き差しを行わないでください。損傷の原因になり、この原因による故障はサポート対象外となります。
- 本製品を分解されますと保証の対象外となりますのでご注意ください。

※製品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次

改定履歴	2
安全上のご注意	2
製品概要	7
製品特長	7
同梱物一覧	8
本体各部名称	9
設置と準備	11
接続図	11
ラックマウントへの取付方法と注意	12
IR 受信・送信ケーブル接続	13
基本の操作	14
電源を入れる/切る	14
本体前面ボタンの操作	15
入力チャンネル設定	15
入力 EDID の設定	15
各動作モード時の操作方法	17
マトリックスモード	17
ビデオウォールモード	18
マルチビューモード	19
その他設定	20
IR リモコン操作	21
ウェブ GUI の操作	22
ウェブ GUI へのログイン	22
メニュー表示の説明	23
‘ADMIN’ カテゴリーのメニュー設定	24
本機のステータス確認 ‘General’	24
各入力チャンネルの詳細設定 ‘Inputs’	25
各出力チャンネルの詳細設定 ‘Outputs’	26
プリセットの設定 ‘Presets’ (‘ADMIN’ カテゴリーメニュー内)	26
ネットワーク設定 ‘Advanced’	27
ウェブ GUI ログインアカウントの詳細設定 ‘User’	27
その他設定(IR/前面ボタン制御、操作音、ディスプレイ常時表示) ‘Advanced’	29
‘MENU’ カテゴリーのメニュー	29
動作モードの変更 ‘Output Mode’	29
[マトリックスモード] 各出力への入力チャンネルの割り当て ‘Rooms’	30
[マルチビューモード] 各ウィンドウへの入力チャンネルの割り当て ‘Multi View’	30
[ビデオウォールモード] 投影する入力チャンネルの割り当て ‘Video Wall’	31
PC 設定専用アプリケーション	32
アプリケーション概要	32
対応 OS	32
ダウンロードリンクページ	32
設定方法	33
RS-232 コマンド	35
シリアル通信設定値	35
ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)	35
RS-232 及び Telnet コマンド	36
システムインフォメーションコマンド	36
システムコントロールコマンド	37
映像入出力コントロールコマンド	38

音声コントロールコマンド	39
ネットワーク設定コマンド	39
Windows PC での Telnet 通信を行う前の設定	40
PC の設定 - TFPT & Telnet を有効にする	41
PC の設定 - IP アドレスの固定方法	42
FAQ よくある質問	44
主な仕様	45
初期設定値	46
外形寸法	47
サポート専用問い合わせ先	47

製品概要

本機は、マルチビューワ、ビデオウォール、シームレスマトリックススイッチャーの3つの出力モードを搭載する4入力4出力マトリックスデバイスです。

最大4K@30(10.2Gbps)対応のHDMI入力4系統と、最大1920x1200(WUXGA)対応のVGA入力4系統にVGA用の音声入力端子を搭載。出力系統には4系統のHDMI出力端子を搭載し1080p60固定フォーマットでスケーリング出力します。

製品特長

- 3つの動作モード
 - マルチビューモード(10種類のレイアウト)
 - ビデオウォールモード(2x2、4x1、1x4)
 - マトリックスモード(4入力4出力)
- シームレス切替
- HDMI入力 x 4/VGA入力 x 4
- 最大入力解像度4K@30(HDMI)/WUXGA(VGA)
- EDIDエミュレータ機能
- PCM 2chオーディオ入出力対応
- IR信号ルーティング機能(4入力4出力)
- 多様な制御方法
 - 本体ボタン/IRリモコン/ウェブGUI/RS-232
- EIAラックマウント1U対応

ご注意

入力EDIDの設定は、本体メニューでは最大1080@p60まで設定が可能です。4K入力EDIDの設定は、パソコンにPC設定専用アプリケーションをインストール後、本機とRS-232で接続して4K対応EDIDファイルを読み込保存してください。詳細設定方法は本書【[PC設定専用アプリケーション](#)】をご参照してください。

同梱物一覧

本機には、以下の物が同梱されています。すべて揃っているか確認してください。

万一、同梱物に不足があった場合は、販売店までご連絡ください。

□ MX44VW本体 x 1



□ ACアダプタx1



□ 電源ケーブルx1 □ EIAラックマウント用ブラケット
(金具x2、ネジx8)



□ IRリモコンx1
(電池付属しません)



□ IR送信ケーブルx4



□ IR受信ケーブルx5



□ 3.5mmステレオ～
モノラルピンケーブル
(IRコントロール
用) x1

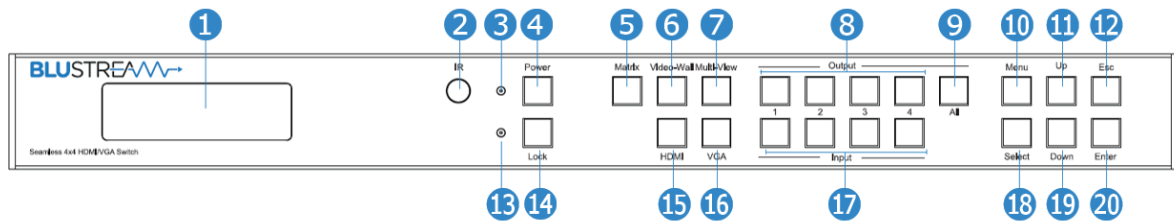


□ 注意事項・保証書



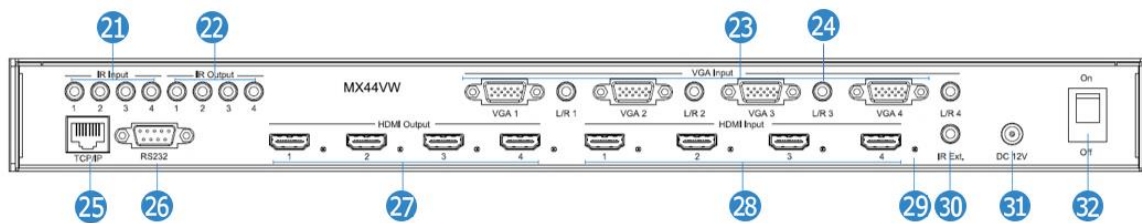
本体各部名称

前面



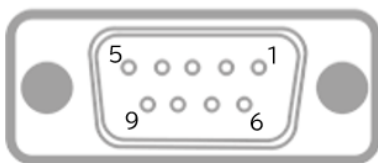
番号	表示アイコン	説明
①	-	ディスプレイです。ステータス及び操作メニューを表示します。 ※ボタン操作をしないと、約 70 秒後にディスプレイ表示は消えます（いずれかのボタンを押すと再度表示されます）。
②	IR	IR 信号受光部です（付属リモコン用）。
③	-	電源ランプです。電源オン：オレンジ色点灯；電源オフ：約 2 秒間赤色点灯後、消灯
④	Power	電源ボタンです。約 2 秒間長押しで本機を電源オン/オフします。
⑤	Matrix	マトリックスモードを選択/設定するボタンです。
⑥	Video-Wall	ビデオウォールモードを選択/設定するボタンです。
⑦	Multi-View	マルチビューモードを選択/設定するボタンです。
⑧	Output	出力 1～4 を選択するボタンです。
⑨	ALL	マトリックスモード時、すべての出力を選択するボタンです。
⑩	Menu	メニューボタンです。
⑪	Up	メニュー操作時、上方向へ移動するボタンです。
⑫	Esc	キャンセルボタンです。
⑬	-	前面ボタンキーロック状態のランプです。キーロック中：赤色点灯；解除：消灯
⑭	Lock	前面ボタンキーロックボタンです。繰り返し押しすとキーロック状態が変わります。
⑮	HDMI	HDMI 入力端子を選択するボタンです。
⑯	VGA	VGA 入力端子を選択するボタンです。
⑰	Input	入力 1～4 を選択するボタンです。
⑱	Select	メニュー操作時、選択するボタンです。
⑲	Down	メニュー操作時、下方向へ移動するボタンです。
⑳	Enter	メニュー操作時、確定するボタンです。

背面



番号	端子・スイッチ	説明
21	IR 信号受信ケーブル 1/2/3/4 接続端子	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです (IR 信号ルーティング用)。
22	IR 信号送信ケーブル 1/2/3/4 接続端子	IR 信号受信 3.5mm モノラルジャックです (IR 信号ルーティング用)。 ※ビデオウォールモード時、選択した映像入力(1/2/3/4 のいずれか)に 相対する端子(1/2/3/4 のいずれか)のみから IR 信号が送信されます。
23	VGA 1/2/3/4 入力端子	VGA チャンネル機器と接続します。1920x1200 までの映像信号に対応 しています。各 VGA 入力の L/R1~4
24	L/R 1/2/3/4 入力端子	VGA 入力時、アナログ音声を入力します。
25	LAN 端子 (RJ-45)	ウェブ GUI また RS-232 (Telnet) を使って、本機を制御します。
26	RS-232 通信端子	PC やサードパーティコントロールデバイスと接続しシリアル通信を通じて本 機を制御できます。
27	HDMI 1/2/3/4 出力端子	ディスプレイ機器に接続します。
28	HDMI 1/2/3/4 入力端子	HDMI チャンネル機器と接続します。
29	HDMI 入力ステータスランプ	HDMI 入力信号を検知します。 正常な信号：オレンジ色点灯；無効な信号または入力なし：消灯
30	IR 信号受信ケーブル接続端子	IR 信号受信 3.5mm ステレオジャックです。付属の 5V IR レシーバ (IRR) を接続します (付属リモコン用)。
31	電源入力端子	付属の AC アダプターを接続します。
32	主電源スイッチ	本機の主電源をオン/オフします。 ※この主電源スイッチをオフする際、④電源ボタンのオン/オフ状態を記 憶しています。

RS-232 通信端子ピンアサイン

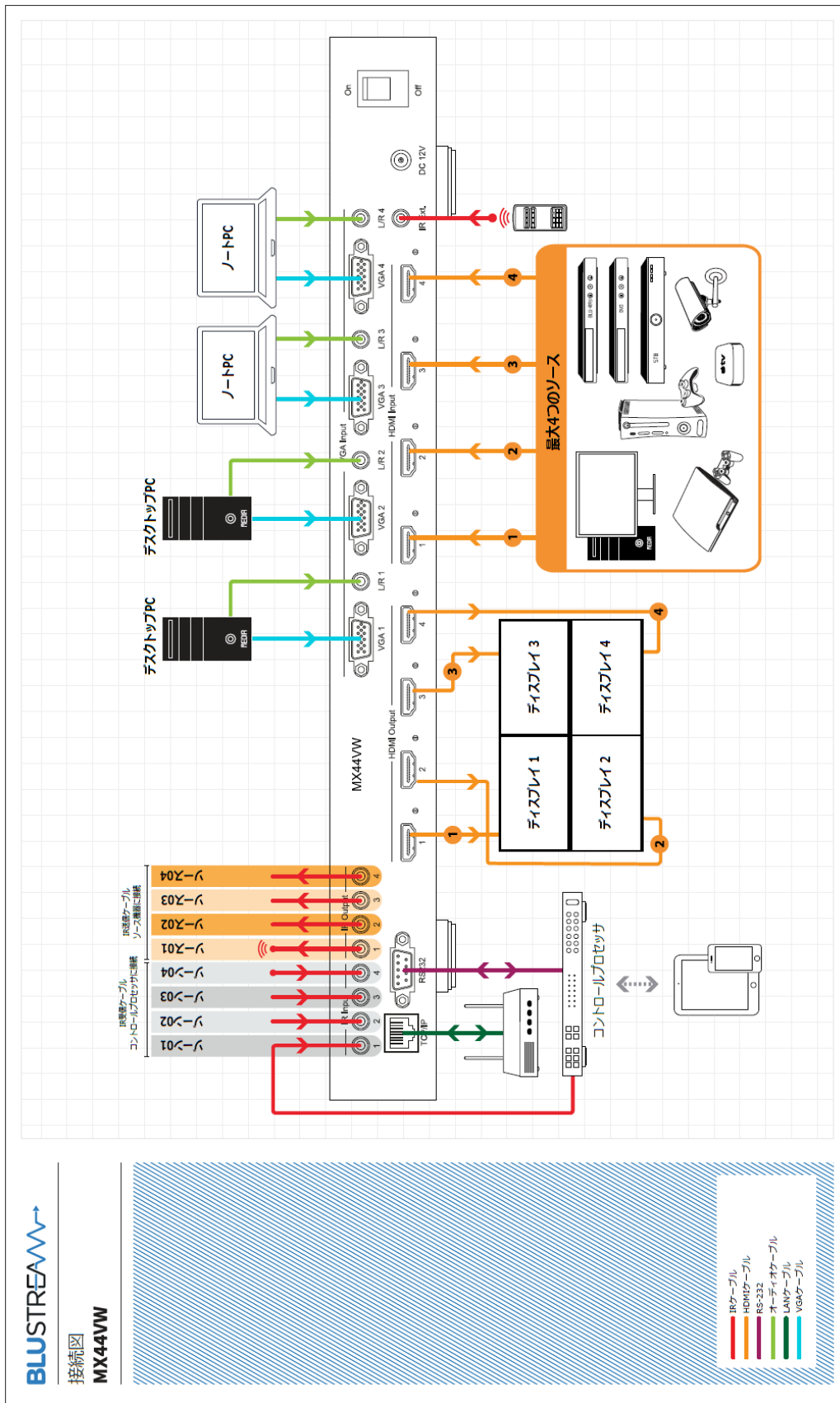


D-Sub 9ピン(メス)

本機 RS-232 通信端子	
ピン	説明
1	NC
2	Tx
3	Rx
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC

設置と準備

接続図



BLUStream
接続図
MX44VW

ラックマウントへの取付方法と注意

ラックなどへ取り付けるときは、付属の専用ラックマウントブラケットのネジ穴に付いている取り付け用ネジをお使いください。また、指などをはさまないようにご注意ください。



本機をラックなどへ取付ける際は、効率よい冷却をするために下記の点にご注意ください。

- 通気性のよい場所に設置してください。
- 本機の前面、背面、左右両側ある冷却ファン排気口をふさがないようにしてください。
- 密閉タイプのラックへのマウントは避けてください。ラック内の暖まった空気を排出できないため、本体内に暖まった空気を吸入することになり、効率のよい冷却ができません。
- ラック背面を開放できない場合は、暖かい空気がたまるラック後面上部に、排気口または排気ファンを設けてください。
- 移動用ケースなどにマウントする場合は、ケースの前面および背面のふたをはずし、本機の前面と背面をふさがないようにしてください。

IR 受信・送信ケーブル接続

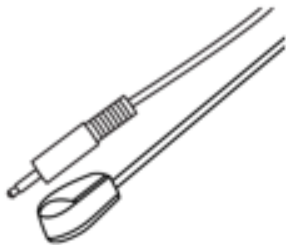
本機は、5V IR レシーバ(IRR)x5 組と 5V IR エミッター(IR1)x4 組、IR コントロールケーブル IRCABx1 組が付属されています。

重要

Blustream の IR 赤外線製品は全て 5V にて設計されています。他社の IR 赤外線製品をご利用の場合は、5V IR であることをご確認ください。

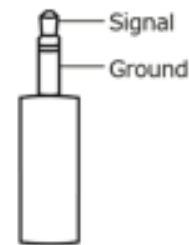
IREミッター - IR1 & IR2 (IR2は別売り)

Blustream 5V IREミッターは、ハードウェアを個別にIR制御するために設計されています。



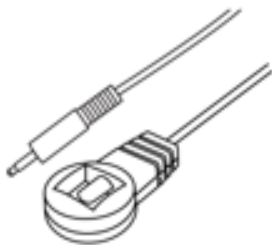
赤外線 3.5mmピンアウト

IREミッター - モノラル3.5mm

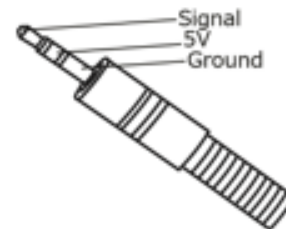


IR レシーバ - IRR

Blustream 5V IRRレシーバー：IR信号を受信し、Blustream製品を制御します。



IRレシーバ - ステレオ 3.5mm

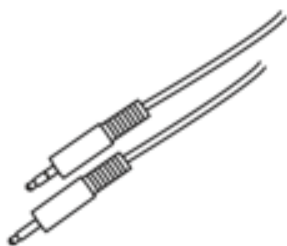


IRコントロールケーブル - IR-CAB

Blustream IRコントロールケーブル (3.5mm モノラル → 3.5mmステレオ変換) 他社製コントロールシステムをBlustream製品に接続するためのケーブルです。

12V IR製品との互換性があります。

ご注意：ケーブルは表示通りの方向性を持っています



基本の操作

電源を入れる/切る

本機にチャンネル機器やディスプレイ機器、その他の機器を接続して本体電源を点ける前に必ず以下をご確認いただき、正しい手順で操作を行ってください。誤った手順で操作をすると、誤作動や故障の原因になる場合があります。

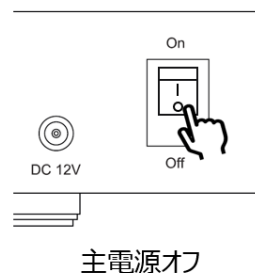
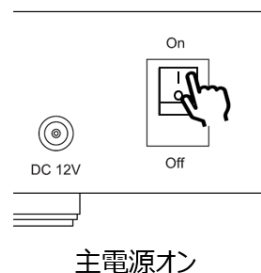
本機の電源を入/切する時は、接続する機器及び本機の音量を最小に下げてください。

主電源を入れる手順

1. 本機に接続するすべての機器の電源がオフになっていることを確認し、付属の AC アダプターの DC プラグを電源入力端子に接続します。
2. 本機の主電源を入れます(本体背面の主電源スイッチ)。
3. チャンネル機器 → 出力機器の順に電源を入れます。

主電源を切る手順

1. 出力機器 → チャンネル機器の順に電源を切ります。
2. 本機の電源を切ります(本体背面の主電源スイッチ)。

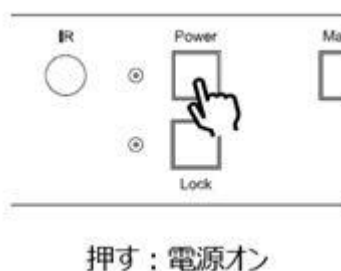


電源オンにする手順

1. 本機前面の電源ボタンを押します。

電源オフにする手順

1. 本機前面の電源ボタンを約 2 秒間長押しします。



本体前面ボタンの操作

本機の前面ボタンで、下記の操作が行うことができます。

- 電源オン/オフ
- 前面ボタンキーロックのオン/オフ
- 入力チャンネルの切替
- 入力 EDID の設定
- 動作モードの切替(マルチビュー / ビデオウォール / マトリックス)
- 出力に入力チャンネルの割り当て
- ビデオウォールレイアウトの切替(1x4 / 2x2 / 4x1)
- マルチビューレイアウトの切替(10 種類)
- ファームウェアバージョンの確認

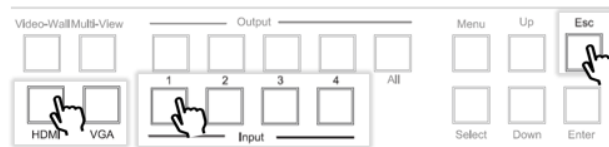
入力チャンネル設定

各入力チャンネルの端子を HDMI / VGA から選択します。

設定方法

```
IN : 1 2 3 4
SRC: H U H H
```

H: HDMI V:VGA



2. 端子を選択
1. 入力チャンネルを選択
3. 【Esc】で確定

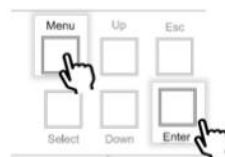
入力 EDID の設定

各入力の EDID を設定します。

設定手順

入力 EDID 設定メニューに入る

```
1. EDID Settings
```



1. 【Menu】ボタンを押す
2. 【Enter】ボタンで確定

入力 EDID 設定画面説明

```

a   b   c
EDID: IN1 DF00*
d   e
HDMI 1080P@60Hz
```

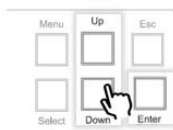
- 'EDID': 入力EDID設定メニュー
- 入力チャンネル(IN1/2/3/4)
- 入力EDID設定番号(詳細は下記のEDID一覧を参照)
- 'HDMI': HDMI入力端子のEDID設定
- 選択されているEDID番号該当する映像フォーマット

EDID 一覧

DF00*	HDMI 1080p@60 2.0CH(デフォルト)
DF01	HDMI 1080i@60 2.0CH
DF02	DVI 1920x1200@60(音声なし)
DF03	DVI 1280x1024@60 (音声なし)
DF04	DVI 1280x720@60 (音声なし)
CP01	COPY OUT1 EDID(出力 1 の EDID をコピー)
CP02	COPY OUT2 EDID(出力 2 の EDID をコピー)
CP03	COPY OUT3 EDID(出力 3 の EDID をコピー)
CP04	COPY OUT4 EDID(出力 4 の EDID をコピー)

設定する入力チャンネルを選択

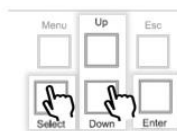
```
EDID: IN1 DF00*
HDMI 1080P@60Hz
```



3. 【Up/Down】ボタンで入力チャンネルを選択

EDID 項目を選択

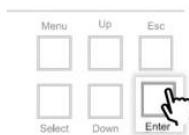
```
EDID: IN1 DF00*
HDMI 1080P@60Hz
```



4. 【Select】ボタンを押し 5. 【Up/Down】ボタンでEDID項目を選択

【Enter】ボタンで設定を確定

```
EDID: IN1 DF00*
EDID SET SUCCESS
```



6. 【Enter】ボタンで確定

各動作モード時の操作方法

本機は下記 3 種類の動作モードで運用できます。

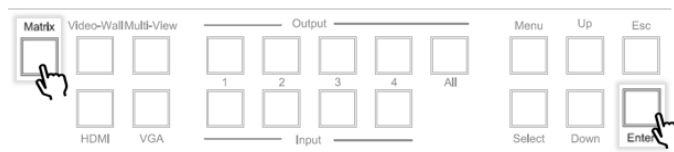
マルチビューモードモード	複数のチャンネルを 1 つの画面に同時表示するモードです。 レイアウト数:10 種類
ビデオウォールモード	1 つのチャンネルを複数のディスプレイに分割表示するモードです。 レイアウト数:3 種類
マトリックスモード	各出力に入力チャンネルを割り当てるモードです。

※ 動作モードの切り替えには、約 5 秒間かかります。

マトリックスモード

マトリックスモードの設定方法

CHANGE MODE TO
MATRIX [En]



1. 【Matrix】ボタンを押す

2. 【Enter】ボタンで確定

マトリックスモード表示説明

```

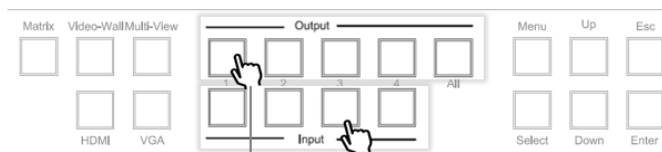
a      b
MX : 1  2  3  4
IN : 3H 2V 3H 4H
c      d
  
```

- a. 'MX': マトリックスモード
- b. '1~4': 各出力チャンネル
- c. 'IN': 割り当てられている入力チャンネル
- d. 前の数字: 入力チャンネル;
後のアルファベット: 入力端子種類、H=HDMI, V=VGA

各出力に入力チャンネルの割り当て方法

```

MX : 1  2  3  4
IN : 3H 2V 3H 4H
  
```

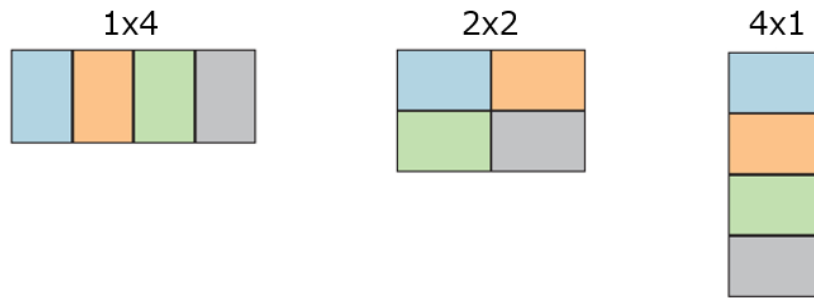


1. 出力チャンネルを選択

2. 入力チャンネルを選択

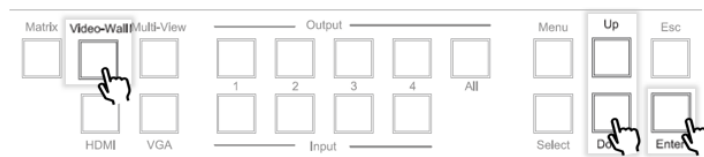
ビデオウォールモード

本機のビデオウォールのレイアウトは下記 3 種類があります。



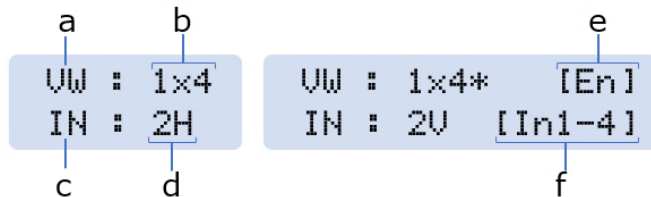
ビデオウォールモード及びレイアウトの設定方法

CHANGE MODE TO
VW 1x4* [En]



1. 【Video-Wall】ボタンを押す
2. 【Up/Down】ボタンでレイアウト選択
3. 【Enter】で確定

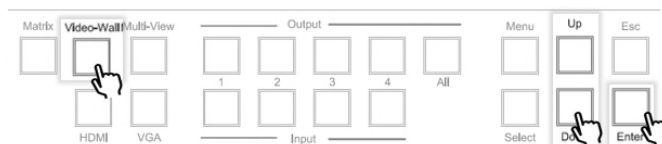
ビデオウォールモード表示説明



- 'VW': ビデオウォールモード
- レイアウト(1x4 / 2x2 / 4x1)
- 'IN': 割り当てられている入力チャンネル
- 前の数字: 入力チャンネル;
後ろのアルファベット: 入力端子種類、H=HDMI, V=VGA
- 'En': 【Enter】で確定する
- 'In1-4': 選択可能な入力チャンネル

ビデオウォールレイアウトの変更方法

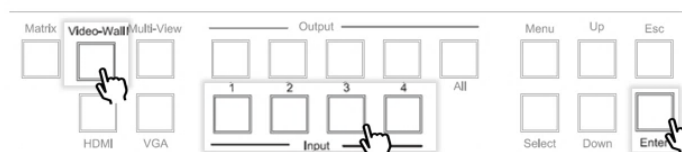
VW : 1x4* [En]
IN : 2V [In1-4]



1. 【Video-Wall】ボタンを押す
2. 【Up/Down】ボタンでレイアウト選択
3. 【Enter】で確定

ビデオウォールへのチャンネル割り当て方法

VW : 1x4* [En]
IN : 2V [In1-4]

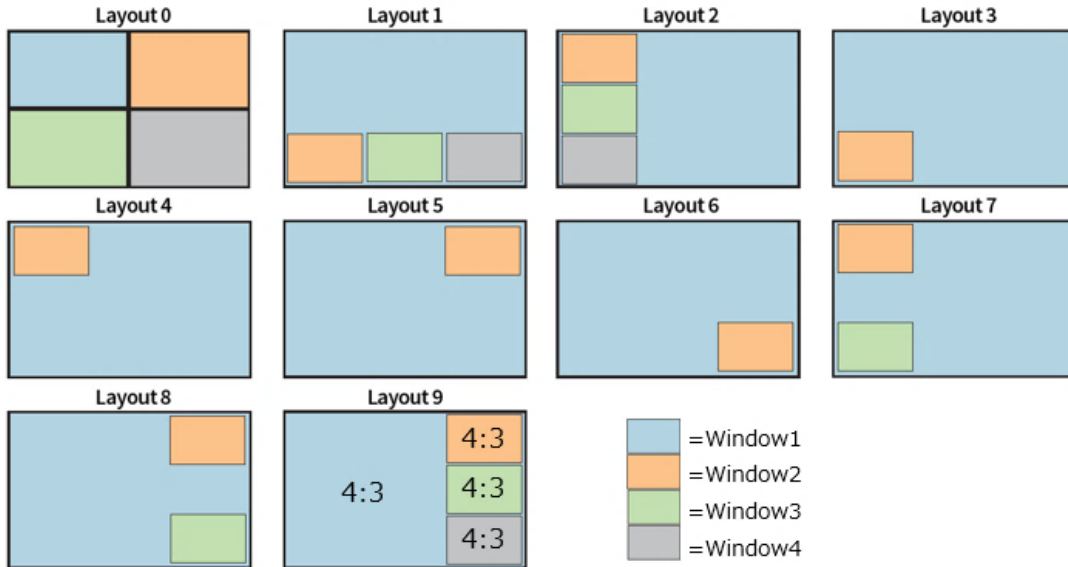


1. 【Video-Wall】ボタンを押す
2. 割り当てる入力チャンネルを選択
3. 【Enter】で確定

※ ビデオウォールのベゼル設定はウェブ GUI または RS-232 コマンドで行うことができます。

マルチビューモード

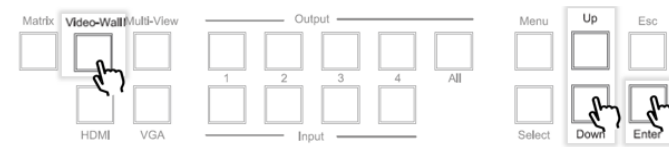
本機のマルチビューモードのレイアウトは下記 10 種類です。



※ レイアウト 9(Layout9)表示時は各ウィンドウのアスペクト比は4:3に変更されます。

マルチビューモード及びレイアウトの設定方法

```
CHANGE MODE TO
MU LAYOUT1* [En]
```



1. 【Multi-View】ボタンを押す
2. 【Up/Down】ボタンでレイアウト選択
3. 【Enter】で確定

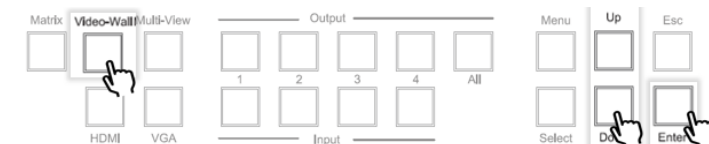
マルチビューモード表示説明

```
a      b
MU1: 1M 2 3 4
IN : 3H 2V 3H 4H
c      d
```

- a. 'MV1': マルチビューモード(数字:レイアウト番号)
- b. '1~4': 各出力チャンネル; 'M': メインウィンドウ
- c. 'IN': 割り当てられている入力チャンネル
- d. 各ウィンドウに割り当てられている入力チャンネル (前の数字: 入力チャンネル; 後ろのアルファベット: 入力端子種類、H=HDMI, V=VGA)

マルチビューモードレイアウトの変更方法

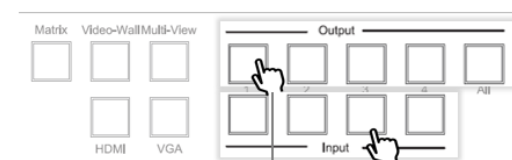
```
MU : LAYOUT1* [En]
```



1. 【Multi-View】ボタンを押す
2. 【Up/Down】ボタンでレイアウト選択
3. 【Enter】で確定

マルチビューモードへのチャンネル割り当て方法

```
MU1: 1M 2 3 4
IN : 3H 2V 3H 4H
```



1. ウィンドウを選択
2. 入力チャンネルを選択

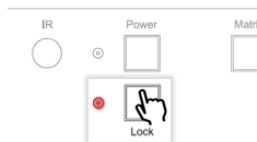
注意

メインウィンドウに割り当てている入力チャンネルは、別のウィンドウと重複した表示できません。
サブウィンドウに割り当てている入力チャンネルは、別のサブウィンドウと重複した表示ができます。

その他設定

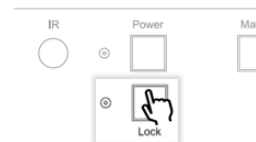
本体ボタンのキーロックオン/オフ

KEY LOCK



前面ボタンキーロックオン

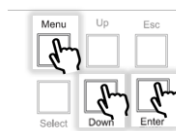
KEY UNLOCK



ロック解除

本機のファームウェアバージョンの確認

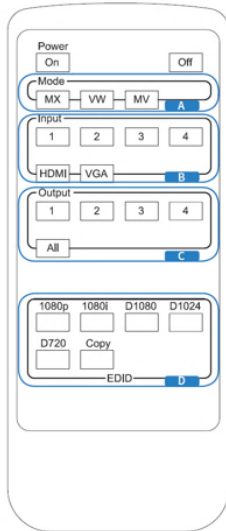
2. F/W Version



3. 【Enter】ボタンで確定

1. 【Menu】ボタンを押す
2. 【Down】ボタンで '2. F/W version' を選択

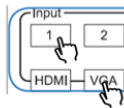
IR リモコン操作



付属IRリモコンの各操作エリアの説明

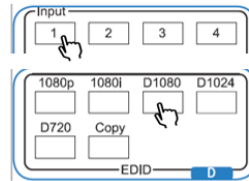
操作エリア	説明
-	Power On: 電源オン Power Off: 電源オフ
A	動作モードを切り替えます。 MX: マトリックスモード VW: ビデオウォールモード MV: マルチビューモード
B	入力チャンネル、及び各チャンネルの入力端子を選択します。
C	出力チャンネルを選択します。 ALL: すべての出力チャンネルを選択
D	入力EDIDの選択します。 1080p: HDMI 1080p60Hz 2.0CH 1080i: HDMI 1080i60Hz 2.0CH D1080: DVI 1920x1080 60Hz(音声なし) D1024: DVI 1280x1024 60Hz(音声なし) D720: DVI 1280x720 60Hz(音声なし) COPY: コピーボタン

各入力チャンネルの端子設定方法



1. 入力チャンネルを選択
2. 端子を選択

入力EDIDの設定方法



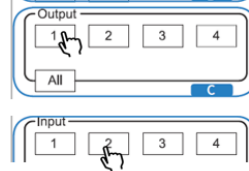
1. 入力チャンネルを選択
2. EDIDを選択

動作モードの切り替え方法



1. 動作モードを選択
(※レイアウトは選択できず、前回のレイアウトが適用されます)

各出力チャンネルに入力チャンネルの割り当て方法



1. 出力チャンネルを選択
2. 入力チャンネルを選択

注意

IR リモコンを本機の受光部へ向けて操作してください。

操作する場所から受光部との間に障害物がある場合は、操作を正しく認識しない場合があります。

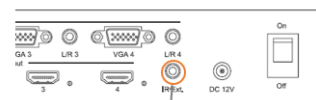
また、受光部に強い光があたっていると、その光に受光部が反応して正しく認識しない場合があります。

なお、付属の IR リモコンは、押し続けても連続して動作することができません。



前面

IR信号受光部



背面

IR受信ケーブルの受光部

ウェブ GUI の操作

ウェブ GUI へのログイン

ウェブ GUI へのログイン手順

1. DHCP 機能対応のルーターに本機と PC を接続します。



注意

PC 及び本機の DHCP 機能をオンに設定してください。

2. 本機の IP アドレスを確認します。

本機の IP アドレスを確認するには下記の方法があります。

- 本機と PC 間で RS-232 接続し、'STATUS' コマンドのレスポンス値で本機の IP アドレスを確認する方法(詳細は本書 ['RS-232 コマンド'](#) を参照してください)
- 専用スマートフォンアプリ「Blstream Matrix」をダウンロードし、スマートフォンを本機をと同じルーターに接続し上で、本機のスキャンをかける方法(詳細は本書 ['専用スマートフォンアプリ'](#) を参照してください)

3. PC 側でウェブブラウザ(Microsoft Edge や Google Chrome)を立ち上げ、URL 入力欄に、本機の IP アドレスを入力し、ウェブ GUI にアクセスします。

4. ウェブ GUI の「Sign In」→「admin」順にクリックし、ログインパスコードをクリックします。

初期ログインパスコード：1234



'Sign In' → 'admin' の順にクリック

ログインパスコードを入力

ログインした後の画面

注意

本体前面ボタンや IR リモコンで操作した時、ステータス情報がウェブ GUI に反映するまでに時間がかかります。最新の設定値をウェブ GUI 上で確認したい場合は、ページの更新(Windows の場合、F5 キーを押す)を実施してください。

メニュー表示の説明

本機は、動作モード毎にウェブ GUI 上に表示されるメニューが異なります。表示されるメニューは下記の通りです。

‘MENU’ カテゴリーのメニュー表示

メニュー名	説明	マトリックスモード	マルチビューモード	ビデオウォールモード
Rooms	出力チャンネルの選択	○	X	X
Preset	プリセットの適用	○	X	X
Multi View	マルチビューのレイアウト、出力音声の設定	X	○	X
Video Wall	ビデオウォール投影する入力チャンネルの選択	X	X	○
Output Mode	動作モードの変更	○	○	○
Passcode	パスコードの変更	○	○	○
Sign Out	ウェブ GUI をサインアウト	○	○	○

‘ADMIN’ カテゴリーのメニュー表示

メニュー名	説明	マトリックスモード	マルチビューモード	ビデオウォールモード
General	本機の各種設定値の確認 (一部設定可能)	○	○	○
Inputs	各入力チャンネルの詳細設定	○	○	○
Outputs	各出力チャンネルの詳細設定	○	○	○
Video Wall	ビデオウォールレイアウト及びベゼルの設定	X	X	○
Preset	プリセットの設定	○	○	○
Advanced	本機のネットワーク、IR 制御などの設定	○	○	○
Users	ウェブ GUI ログインアカウントの詳細設定	○	○	○

‘ADMIN’ カテゴリーのメニュー設定

本機のステータス確認 ‘General’

‘General’ メニューでは、下記項目の確認、設定を行います。

● 本機のネットワーク設定の確認

Web Module Information			
DHCP	IP	Gateway	Mask
Enabled	192.168.57.64	192.168.57.3	255.255.255.0
Version			
6.36			

メニュー項目	説明
DHCP	本機の DHCP のステータスを表示します。 Enabled: 有効; Disabled: 無効
IP	本機の IP アドレスを表示します。
Gateway	本機のゲートウェイ設定を表示します。
Mask	本機のサブネットマスクを表示します。
Version	本機のウェブ GUI バージョンを表示します。

● 本機のデバイス名、ファームウェアバージョン情報の確認

Device Information	
Device	Version
MX44VW	2.21

メニュー項目	説明
Device	本機のデバイス名を表示します。
Version	本機のファームウェアバージョンを表示します。

● 本機の電源と RS-232 通信項目の設定及び IR、キーロック、操作音のステータスの確認

Device Status		
Power	RS232 Baudrate	Telnet
ON	57600	23
IR	Key	Beep
Enabled	Enabled	Disabled

メニュー項目	説明	設定値または表示
Power	本機の電源をオン/スタンバイモードに設定します。	ON: 電源オン OFF: スタンバイモード
RS232 Baudrate	本機のRS-232 通信ポートを設定します。	115200 / 57600 / 38400 / 19200 / 9600
Telnet	本機のTelnet通信ポートを設定します。	半角数字のみ入力可能です
IR	本機のIR制御ステータスを表示します。	Enabled: 有効 Disabled: 無効
Key	本機前面ボタン制御ステータスを表示します。	Enabled: 有効 Disabled: 無効
Beep	本機の操作音ステータスを表示します。	Enabled: 有効 Disabled: 無効

● マトリックスモード時、各出力チャンネルに割り当てられている入力チャンネルの確認

Source Selection Status	
Output	Source
OUTPUT1	INPUT1
OUTPUT2	INPUT2
OUTPUT3	INPUT3
OUTPUT4	INPUT4

メニュー項目	説明
Output	各出力チャンネル
Source	割り当てられている入力チャンネル

● マルチビューモード時、各ウィンドウに割り当てられている入力チャンネルの確認

Multi View Selection Status	
Window	Source
Window 1	INPUT1
Window 2	INPUT2
Window 3	INPUT3
Window 4	INPUT4

メニュー項目	説明
Window	各ウィンドウ
Source	割り当てられている入力チャンネル

● ビデオウォールモード設定時レイアウト及び割り当てられている入力チャンネルの確認

Video Wall Selection Status	
Output	Source
2x2 Output	INPUT1

メニュー項目	説明
Output	ビデオウォールレイアウト
Source	割り当てられている入力チャンネル

各入力チャンネルの詳細設定 ‘Inputs’

‘Inputs’ メニューでは、各入力チャンネルの名称、EDID(HDMI 入力端子のみ)、入力端子の設定を行います。

Input 1

Name: EDID:

Source: Source Signal:

メニュー項目	説明	設定値または表示
Name	入力チャンネル名を設定します。	半角英数符号のみ入力可能です
EDID	入力 EDID を設定します。	HDMI-1080P Audio-2.0CH HDMI-1080I Audio-2.0CH DVI-1920x1080@60Hz* DVI-1280x1024@60Hz* DVI-1280x720@60Hz* USER1 EDID** USER2 EDID** GUI DOWNLOAD EDID** COPY OUTPUT 1 EDID COPY OUTPUT 2 EDID COPY OUTPUT 3 EDID COPY OUTPUT 4 EDID
Source	入力端子を設定します。	HDMI / VGA
Source Signal	入力信号のステータスを表示します。	On:入力信号を検知 Off:入力信号を未検知

※ 音声なし。

※※ USER1/2 EDID、GUI DOWNLOAD EDID は PC 専用アプリケーションを使用して本機に保存します。詳しい操作方法などは本書「[PC 設定専用アプリケーション](#)」を参照ください。

各出力チャンネルの詳細設定 ‘Outputs’

‘Outputs’メニューでは、各出力チャンネルの名称、入力チャンネルの割り当て、出力の有効/無効の設定、及びHDMI出力端子とディスプレイ機器との接続状態を確認します。

メニュー項目	説明	設定値または表示
Name	出力チャンネル名を設定します。	半角英数符号のみ入力可能です
From Input	出力チャンネルに入力チャンネルを割り当てます。 ※マトリックスモード時のみ設定可能	入力チャンネル名から選択します
HDMI Cable	HDMI出力端子とディスプレイ機器との接続状態を表示します。	Connected: 接続済 Disconnected: 未接続
Output	出力チャンネルを有効/無効に設定します。	Enabled: 有効 Disabled: 無効

プリセットの設定 ‘Presets’（‘ADMIN’ カテゴリーメニュー内）

‘Presets’メニューでは、出力チャンネルに割り当てる入力チャンネルの組み合わせを設定します。

メニュー項目	説明	設定値
Output 1	出力チャンネル 1 に割り当てる入力チャンネルを設定します。	各入力名 ‘None’: 割り当て無し
Output 2	出力チャンネル 2 に割り当てる入力チャンネルを設定します。	
Output 3	出力チャンネル 3 に割り当てる入力チャンネルを設定します。	
Output 4	出力チャンネル 4 に割り当てる入力チャンネルを設定します。	

※プリセットを保存する場合は、右上に表示される「Save Preset」をクリックします。

注意

プリセットはマトリックスモード設定時のみ表示され、適用できます。
また、適用可能なプリセットは‘Preset 1’、‘Preset2’のみとなります。

ネットワーク設定 ‘Advanced’

‘Advanced’メニューでは、本機のネットワークを設定します。

Network Settings

DHCP: Enabled

IP Address: 192.168.0.200

Gateway: 192.168.0.1

Subnet Mask: 255.255.255.0

メニュー項目	説明	設定値
DHCP	本機の DHCP のステータスを表示します。	Enabled: 有効 Disabled: 無効
IP Address	本機の IP アドレスを表示します。	設定例: 192.168.0.200
Gateway	本機のゲートウェイ設定を表示します。	設定例: 192.168.0.1
Subnet Mask	本機のサブネットマスクを表示します。	設定例: 255.255.255.0

ウェブ GUI ログインアカウントの詳細設定 ‘User’

‘User’メニューでは、ログインアカウントの新規追加、変更、削除を行います。

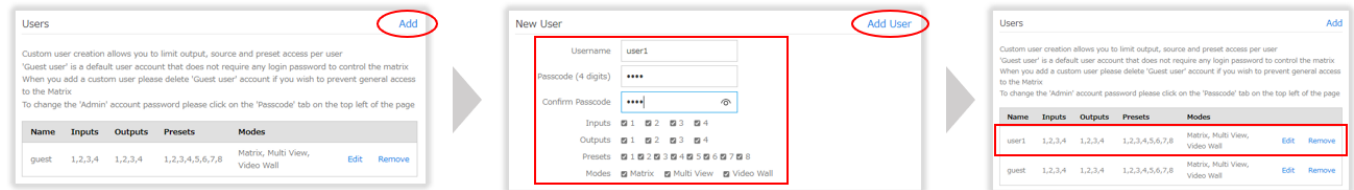
Users [Add](#)

Custom user creation allows you to limit output, source and preset access per user
 'Guest user' is a default user account that does not require any login password to control the matrix
 When you add a custom user please delete 'Guest user' account if you wish to prevent general access to the Matrix
 To change the 'Admin' account password please click on the 'Passcode' tab on the top left of the page

Name	Inputs	Outputs	Presets	Modes		
user1	1,2,3,4	1,2,3,4	1,2,3,4,5,6,7,8	Matrix, Multi View, Video Wall	Edit	Remove
guest	1,2,3,4	1,2,3,4	1,2,3,4,5,6,7,8	Matrix, Multi View, Video Wall	Edit	Remove

メニュー項目	説明
Name	アカウント名を表示します。
Inputs	該当アカウントが設定可能な入力チャンネルを表示します。
Outputs	該当アカウントが設定可能な出力チャンネルを表示します。
Presets	該当アカウントが設定可能なプリセットを表示します。
Modes	該当アカウントが設定可能な動作モードを表示します。

ログインアカウントの新規追加方法



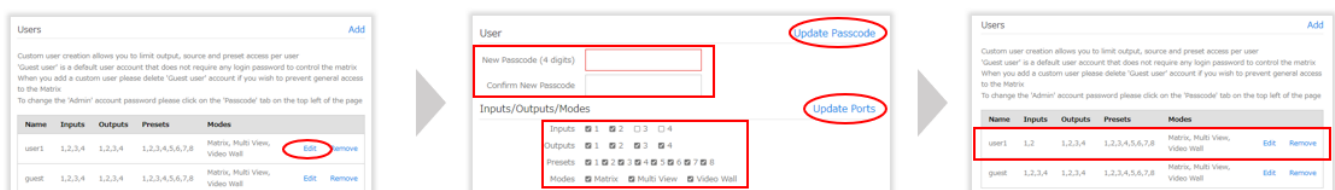
1. 'Add'をクリックします。
2. 必要な情報を入力し、'Add User'をクリックします。
3. 新規追加したログインアカウントを確認します。

設定項目	説明	設定値
Username	ログインユーザー名を入力します。	半角英数符号のみ入力可能です。
Passcode(4 digits)	ログインパスコードを入力します。	0~9 間の半角数字を 4 桁入力します。
Confirm Passcode	ログインパスコードを再度入力します。	
Inputs	設定可能な入力チャンネルの権限を設定します。	チェック入れる:設定権限あり チェックを外す:設定権限なし
Outputs	設定可能な入力チャンネルの権限を設定します。	
Presets	設定可能なプリセットの権限を設定します。	
Modes	設定可能な動作モードの権限を設定します。	

※ ログインアカウントを新規作成した後、ウェブ GUI の上部分に 'User has been added' というメッセージが表示されます。

※ アカウント 'guest' はログインなしで設定を変更可能なログインアカウントとなります。不要な場合は当アカウントを削除してください。

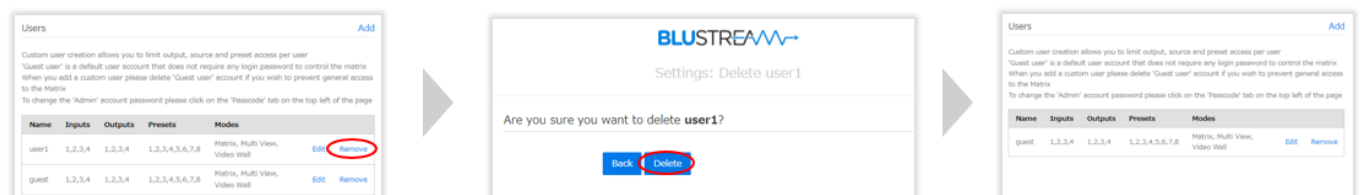
ログインアカウントのログインパスコード及び設定権限の変更方法



1. 変更したいアカウントの 'Edit' をクリックします。
2. パスコードを変更した後、'Update Passcode' をクリックします。
入力チャンネル選択や動作モードの設定権限を変更した後、'Update Ports' をクリックします。
3. 変更した権限のステータス情報を確認します。

※ アカウントのログインパスコードや各種設定権限を変更した後、ウェブ GUI の上部分に 'User has been edited' というメッセージが表示されます。

ログインアカウントの削除方法

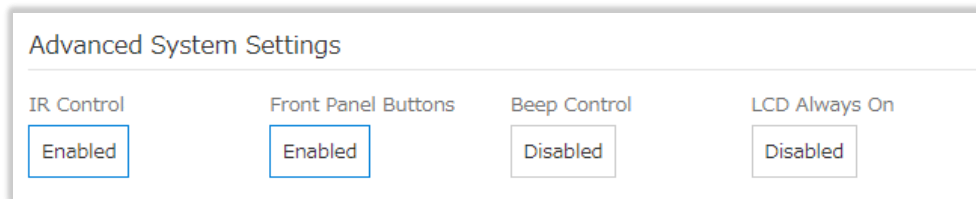


1. 削除したいアカウントの 'Remove' をクリックします。
2. 'Delete' をクリックすると、アカウントが削除されます。
'Back' をクリックすると、アカウントパスコードや権限変更画面に移ります。
3. アカウント削除されたのかを確認します。

※ ログインアカウントを新規作成した後、ウェブ GUI の上部分に 'User has been deleted' というメッセージが表示されます。

その他設定(IR/前面ボタン制御、操作音、ディスプレイ常時表示) ‘Advanced’

‘Advanced’メニューでは、ネットワーク設定のほか、IR 制御、前面ボタン制御、操作音、前面ディスプレイ常時表示の有効/無効を設定します。

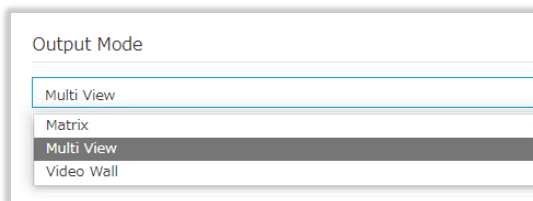


メニュー項目	説明	設定値
IR Control	専用 IR リモコンによる制御を有効/無効に設定します。	Enabled: 有効 Disabled: 無効
Front Panel Buttons	本機前面パネルボタンによる制御を有効/無効に設定します。	
Beep Control	本機の操作音を有効/無効に設定します。	
LCD Always On	本機の前面パネルディスプレイの常時表示を有効/無効に設定します。	

‘MENU’ カテゴリーのメニュー

動作モードの変更 ‘Output Mode’

‘Output Mode’メニューでは、マトリックスモード/マルチビューモード/ビデオウォールモードを変更します。



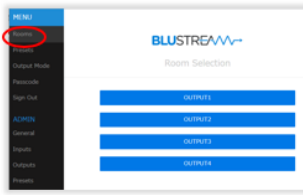
メニュー項目	説明
Matrix	マトリックスモード
Multi View	マルチビューモード
Video Wall	ビデオウォールモード

注意

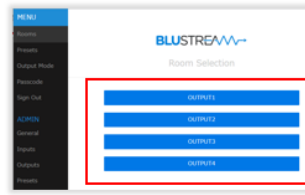
動作モードが変更するには数秒かかります。また、音量注意してください。

[マトリックスモード] 各出力への入力チャンネルの割り当て ‘Rooms’

‘Rooms’ では、マトリックスモード時の各出力への入力チャンネルの割り当てを設定します。



1. ‘Rooms’をクリックします。

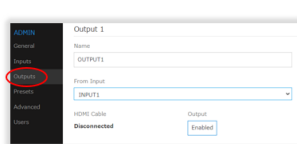


2. 設定したい出力チャンネルをクリックします。

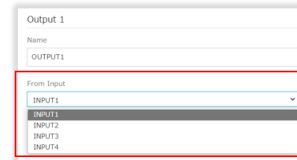


3. 割り当てたい入力チャンネルをクリックします。

※上記の他に ‘ADMIN’ カテゴリーメニュー内の ‘Outputs’ メニューでも設定できます。



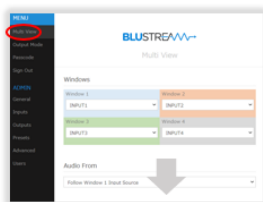
1. ‘Outputs’をクリックします。



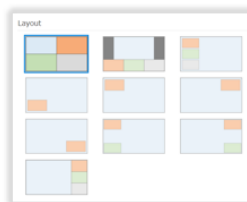
2. 設定したい出力チャンネルの‘From Inputs’から入力チャンネルを割り当てます。

[マルチビューモード] 各ウィンドウへの入力チャンネルの割り当て ‘Multi View’

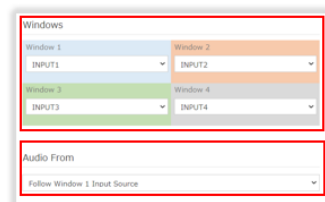
‘Multi View’ メニューでは、マルチビューモード時のマルチビューレイアウト、各ウィンドウへの入力チャンネルの割り当て、及び出力音声を選択します。



1. ‘Multi View’をクリックします。



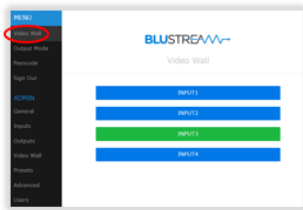
2. 下方向へスクロールし、設定したいレイアウトをクリックします。



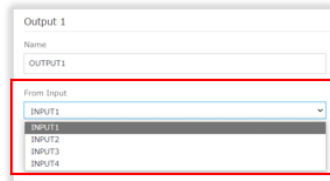
3. ‘Window’項目で各ウィンドウに入力チャンネルを割り当て、‘Audio From’項目で出力音声を選択します。

【ビデオウォールモード】 投影する入力チャンネルの割り当て ‘Video Wall’

‘MENU’ カテゴリー内の ‘Video Wall’ メニューでは、ビデオウォールへ投影する入力チャンネルの割り当てを設定します。

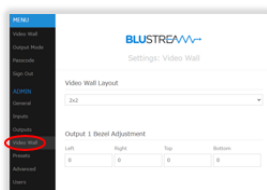


1. ‘Outputs’をクリックします。

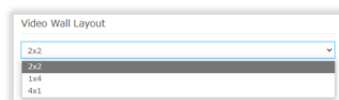


2. 設定したい出力チャンネルの‘From Inputs’から入力チャンネルを割り当てます。

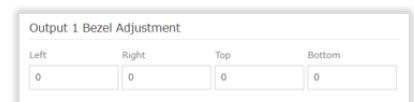
‘ADMIN’ カテゴリー内にも ‘Video Wall’ メニューがあります。こちらでは、ビデオウォールのレイアウト、各ウィンドウのベゼルの調整を設定します。



1. ‘Video Wall’をクリックします。

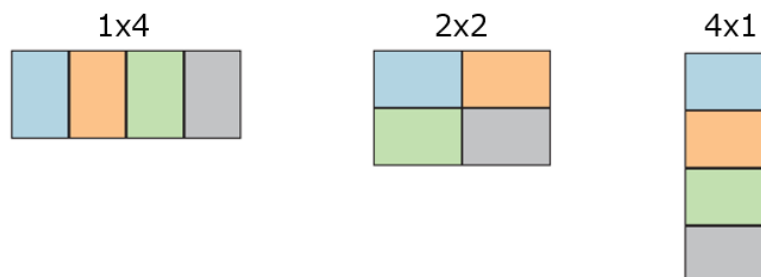


2. ビデオウォールレイアウトを選択します。



3. 各ウィンドウのベゼルを設定します。

ビデオウォールのレイアウトは、下記の 3 種類があります。



ウィンドウ毎に上下左右方向にベゼル調整をすることができます。調整範囲は 0～100 ピクセルとなります。ベゼル調整のイメージは、上下左右方向に映像を伸ばしていきませんが、フレーム枠を超えた部分は表示されません。



ビデオウォール投影映像（ベゼル調整せず）



ビデオウォール投影映像（ベゼル調整済み）

PC 設定専用アプリケーション

アプリケーション概要

PC 設定専用アプリケーション「MX44VW_Configurator_Ver1.80.exe」で本機に EDID ファイルを本機に読み込ませ、本機に保存することができます。

当アプリケーション通信は RS-232 通信で行います。(本機の RS-232 接続端子のピンアサインは本書「[本体各部名称](#)」を参照してください)

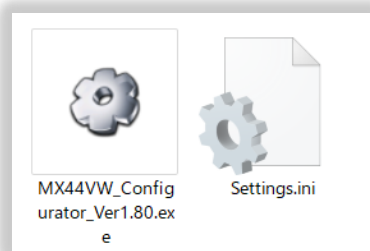
対応 OS

Windows10

ダウンロードリンクページ

PC 設定専用アプリケーションのダウンロードリンクページ
[リンク](#)

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍すると、下記ファイルが確認できます。



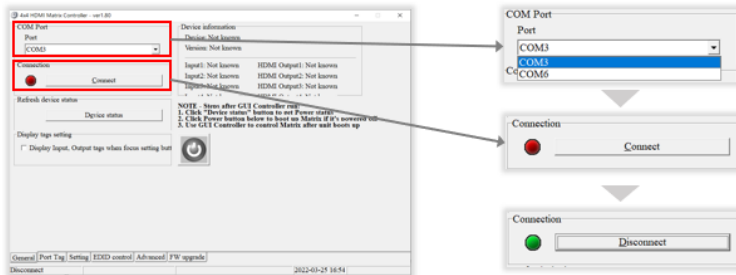
EDID ファイルのダウンロードリンクページ
[リンク](#)

設定方法

本機と PC 間を RS-232 接続ケーブルで接続します。



アプリケーションを立ち上げます。



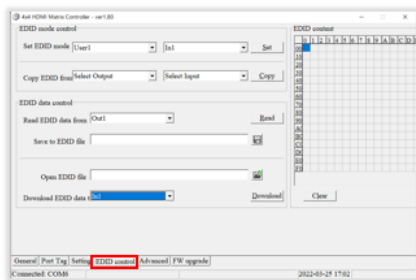
本機の通信ポート番号を選択します。

‘Connection’をクリックします。

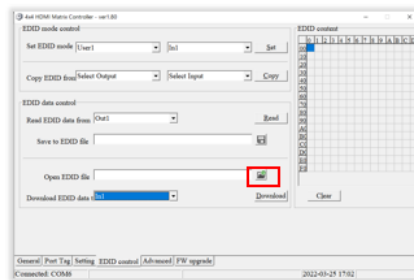
緑色ランプ：接続済み

1. アプリを立ち上げます。
2. 本機との接続を確立します。

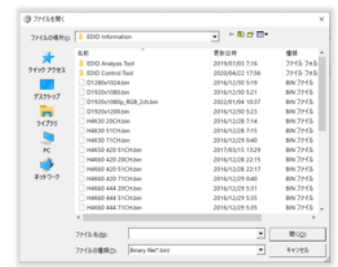
本機に EDID ファイルを読み込ませ、保存します。



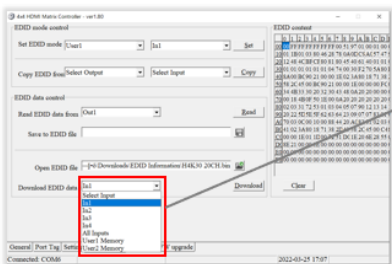
1. ‘EDID control’タブをクリックします。



2. EDIDファイルパスを設定します。

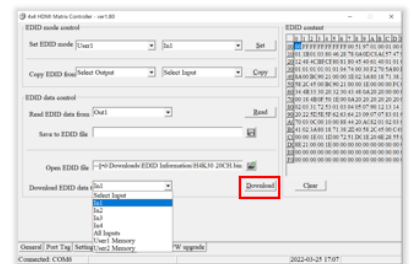


3. EDIDファイルパスを設定します。

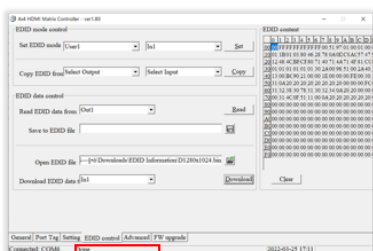


項目	説明
In1/2/3/4	入力チャンネル1/2/3/4
All Inputs	すべての入力チャンネル
User 1 Memory	User 1 EDID
User 2 Memory	User 2 EDID

4. EDIDファイルの読み込ませる項目を選択します。

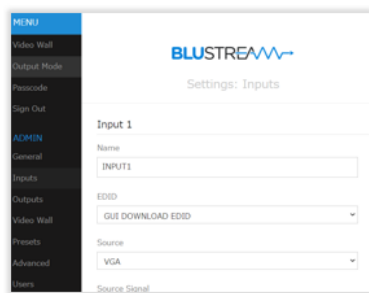


5. ‘Download’をクリックします。

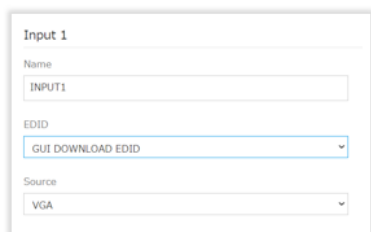


‘Downloading’>‘Done’が表示すれば EDIDファイルの保存が完了となります。

本機のウェブ GUI 'Inputs' タブメニューで EDID の適用、または EDID の設定を確認します。

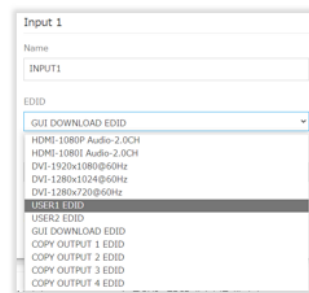


'Inputs'タブをクリックします。



指定する入力チャンネルにEDIDを読み込ませた場合、'GUI DOWNLOAD EDID'と表示されます。

または



'User1/2 EDID'をクリックし、新EDIDを適用させます。

RS-232 コマンド

シリアル通信設定値

RS-232 でのシリアル通信で制御します。

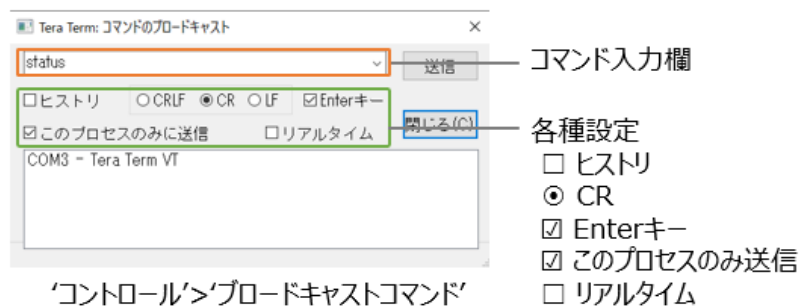
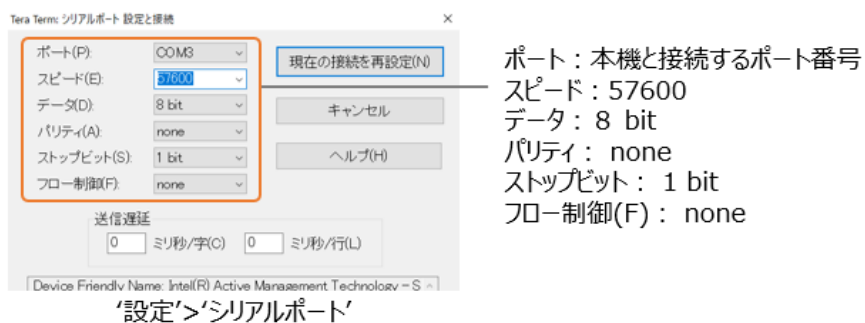
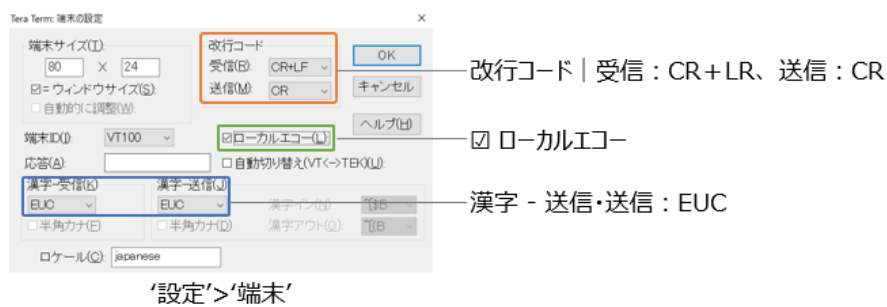
制御コマンドの一覧は本書「[RS-232 及び Telnet コマンド](#)」をご参照ください。

初期値は下記の通りです。

項目	設定値
ボーレート	57600
データビット	8 ビット
パリティ	なし(None)
ストップビット	1 ビット
フローコントロール	なし(None)

ターミナルエミュレータソフトウェア設定例(Tera Term)

ターミナルエミュレータ「Tera Term」を利用する場合は、以下のように設定をしてコマンド送信を行ってください。



RS-232 及び Telnet コマンド

本機は、シリアル通信及び、TCP/IP 通信経由で制御が可能です。利用可能なすべてのシリアルコマンドを以下のページに記します。

良くある失敗例

キャリッジリターン - ご利用になられるターミナルソフトウェアによっては、キャリッジリターン(改行)が必要、不要場合があります。一部のターミナルソフトウェアでは、トークン<CR>を使用してキャリッジリターンを実行するなど、ご利用になられるプログラムによって仕様が異なります。

・スペース(空白) - 本機はスペース(空白)を認識せず動作します。

例: '1' は '01' は同じとみなします。

- 文字列のフォーマット: 'OUT01FR02'

- サードパーティ制御システムのコマンド例: 'OUT{スペース(空白)}01{スペース(空白)}FR02'

・ボーレートまたはその他のシリアル通信プロトコルの設定間違い

システムインフォメーションコマンド

項目	送信コマンド	応答
コマンド一覧を取得する	?	コマンド '?'、'HELP' の応答例を参照してください
コマンド一覧を取得する	HELP	
システムステータス情報を取得する	STATUS	コマンド 'STATUS' の応答例を参照してください

```

Seamless HDMI MX44VW Help Info
FW Version: 2.21
Scaler Version: 1.20

===== System Information Command
HELP          Print Help Information
STATUS       Print System Status And Port Status
===== System Control Command
PON          Power On, System Run On Normal State
POFF        Power Off, System Run On Power Save State
IR ON/OFF   Set System IR Control On Or Off
KEY ON/OFF  Set System KEY Control On Or Off
DBG ON/OFF  Set Debug Mode On Or Off
BEEP ON/OFF Set Onboard Beep On Or Off
LCD ON/OFF  Set LCD Always On Or Auto Turn Off When Power On

RESET       Reset System To Default Setting
RESET ALL   Reset System And Network To Default Setting
            (Should Type "Yes" To Confirm, "No" To Discard)
===== Input And Output Port Control Command
OUT MODE mm Set Output Mode To mm
            mm=[MX]: Matrix, [MV]: Multi-View, [VW]: Video

```

コマンド '?'、'HELP' の応答例

```

=====
Seamless HDMI MX44VW Help Info
FW Version: 2.21
Scaler Version: 1.20

Power    IR      Key      DBG      Beep     LCD
ON       ON      ON       OFF      OFF      ON

InPort   EdidIndex  Signal   Source
01       DEFAULT_00 OFF      HDMI
02       DEFAULT_00 OFF      HDMI
03       DEFAULT_00 OFF      HDMI
04       DEFAULT_00 OFF      HDMI

OutPort_Mode  MX/MV/VWinput  CableConnect  EnableOutput
01_MX         01/02/03       OFF           Yes
02_MX         01/03/03       OFF           Yes
03_MX         01/01/03       OFF           Yes
04_MX         01/03/03       OFF           Yes

VWlayout      MVlayout      MVaudio
1x4           Layout2       In2

Video-Wall Border
Out1_L/R/T/B  Out2_L/R/T/B  Out3_L/R/T/B  Out4_L/R/T/B
000/000/000/000 000/000/000/000 000/000/000/000 000/000/000/000

DHCP          IP              Gateway         SubnetMask
ON            192.168.057.085 192.168.057.003 255.255.255.000
(static:     192.168.000.200 192.168.000.001 255.255.255.000)

Telnet       MAC
0023        34:D0:B8:20:33:23
=====

```

コマンド 'STATUS' の応答例

システムコントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機を電源オンする	PON	[SUCCESS]Set system power ON, please wait a moment... Done	-
本機を電源オフする	POFF	[SUCCESS] Set system power OFF.	-
本機の IR 制御を有効にする	IR ON	[SUCCESS]Set IR ON.	-
本機の IR 制御を有効にする	IR OFF	[SUCCESS]Set IR OFF.	-
本機のフロントタッチボタン操作を有効にする	KEY ON	[SUCCESS] Set KEY ON.	-
本機フロントタッチボタン操作を無効にする	KEY OFF	[SUCCESS] Set KEY OFF.	-
本機をデバッグモードにする (通常は使用しません)	DBG ON	[SUCCESS]Set Debug Mode ON .	-
本機を通常モードにする	DBG OFF	[SUCCESS]Set Debug Mode OFF.	-
本機フロント操作ボタン音を有効にする	BEEP ON	[SUCCESS]Set onboard Beep ON.	-
本機フロント操作ボタン音を無効にする	BEEP OFF	[SUCCESS]Set onboard Beep OFF.	-
本機ディスプレイの常時表示を有効にする	LCD ON	[SUCCESS]Set LCD always on in power on state.	-
本機ディスプレイの常時表示を無効にする(無操作時、約70秒後に表示が消えます)	LCD OFF	[SUCCESS]Set LCD auto turn off in power on state.	-
本機の設定をリセットする(ネットワーク設定及びログインアカウント設定を除く)	RESET	Sure to RESET system to default settings? Type "Yes" after next prompt to confirm...	Yes: 実行 No: キャンセル
本機すべての設定をリセットする	RESET ALL	Sure to RESET system and network to default settings? Type "Yes" after next prompt to confirm...	Yes: 実行 No: キャンセル

映像入出力コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マトリックスモードに設定する	OUT MODE MX	[SUCCESS]Set output mode to Matrix.	-
マルチビューモードに設定し、レイアウトを選択する	OUT MODE MV m	[SUCCESS]Set output mode to Video-Wall [m].	m=[0~9: レイアウト 0~9] ※レイアウト 0~9は本書【 マルチビューモード 】を参照ください。
ビデオウォールモード及びレイアウトを設定する	OUT MODE VW mm	[SUCCESS]Set output mode to Multi-View layout [m].	mm=[22: 2x2 レイアウト 41: 4x1 レイアウト 14: 1x4 レイアウト ※レイアウトは【 マルチビューモード 】を参照ください。
出力 xx を有効に設定する	OUT xx ON	[SUCCESS]Set output [xx] ON.	xx=[00: すべての入力 01: 入力 1
出力 xx を無効に設定する	OUT xx OFF	[SUCCESS]Set output [xx] OFF.	02: 入力 2 03: 入力 3 04: 入力 4]
マトリックスモード時、またはマルチビューモード時、チャンネルを入力 yy に設定する(マルチビューモード時は、同じ入力をメインとサブの両方に設定できません)	OUT xx FR yy	[SUCCESS]Set output [xx] connect from input [yy].	xx=[00: すべての入力 01: 入力 1 02: 入力 2 03: 入力 3 04: 入力 4] yy=[01: 出力 1 02: 出力 2 03: 出力 3 04: 出力 4]
ビデオウォールモード時、投影するチャンネルを入力 yy に設定する	OUT VW FR yy	[SUCCESS]Set Video-Wall connect from input [yy].	yy=[00: すべての出力 01: 出力 1 02: 出力 2 03: 出力 3 04: 出力 4]
ビデオウォールモード時、出力 xx の左ボーダーラインを bb に設定する	OUT xx VCL bb	[SUCCESS]Set [xx] left border [bb] pixel.	xx=[00: すべての入力 01: 入力 1 02: 入力 2 03: 入力 3 04: 入力 4]
ビデオウォールモード時、設定時、出力 xx の右ボーダーラインを bb に設定する	OUT xx VCR bb	[SUCCESS]Set [xx] right border [bb] pixel.	bb=[00~100: ピクセル]
ビデオウォールモード時、設定時、出力 xx のトップボーダーラインを bb に設定する	OUT xx VCT bb	[SUCCESS]Set [xx] top border [bb] pixel.	
ビデオウォールモード時、設定時、出力 xx のボトムボーダーラインを bb に設定する	OUT xx VCB bb	[SUCCESS]Set [xx] bottom border [bb] pixel.	
入力 xx の入力端子を yy に設定する	IN xx FR yy	[SUCCESS]Set [xx] use [yy] source.	xx=[00: すべての入力 01: 入力 1 02: 入力 2 03: 入力 3 04: 入力 4] yy=[HDMI: HDMI 入力 VGA: VGA 入力]
出力 yy の EDID を入力 xx にコピーする	EDID xx CP yy		xx=[00: すべての入力 01: 入力 1 02: 入力 2 03: 入力 3 04: 入力 4] yy=[01: 出力 1 02: 出力 2 03: 出力 3 04: 出力 4]
入力 xx の EDID を設定する	EDID xx DF zz	[SUCCESS]Set [xx] edid with default edid [yy].	xx=[00: すべての入力 01: 入力 1

02: 入力 2
 03: 入力 3
 04: 入力 4]
 zz=[下記の“入力 EDID フォーマット一覧”
 を参照ください]

入力 EDID フォーマット一覧表

zz	対応 EDID	zz	対応 EDID
00	HDMI 1080p@60Hz, Audio 2CH PCM	01	HDMI 1080i@60Hz, Audio 2CH PCM
02	DVI 1920x1080@60Hz, Audio None(音声なし)	03	DVI 1280x1024@60Hz, Audio None(音声なし)
04	DVI 1280x720@60Hz, Audio None(音声なし)	05	User EDID 1 (ユーザーカスタム EDID 1)
06	User EDID 2 (ユーザーカスタム EDID 2)		

音声コントロールコマンド

項目	送信コマンド	応答	パラメータ
マルチビューモード時、出力音声を設定する	MV AUD aa	[SUCCESS]Set Multi-View output audio from Follow [aa].	aa=[00: 入力 1 の音声 01: 入力 1 の音声に固定 02: 入力 2 の音声に固定 03: 入力 3 の音声に固定 04: 入力 4 の音声に固定]

ネットワーク設定コマンド

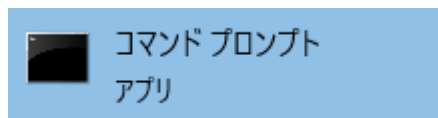
項目	送信コマンド	応答	パラメータ
本機の DHCP 機能を有効/無効に設定する ※1	NET DHCP ON/OFF	[SUCCESS]Set DHCP to ON/OFF . Use "NET RB" command or repower device to apply new config!!!	-
本機の IP アドレスを設定する ※1※2	NET IP xxx.xxx.xxx.xx	[SUCCESS]Set IP address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[IP アドレス] ※入力例:192.168.001.100
本機のゲートウェイを設定する ※1※2	NET GW xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[ゲートウェイ] ※入力例:192.168.001.001
本機のサブネットマスクを設定する ※1※2	NET SM xxx.xxx.xxx.xxx	[SUCCESS]Set gateway address to [xxx.xxx.xxx.xxx].	xxx.xxx.xxx.xxx=[サブネットマスク] ※入力例:255.255.255.000
ネットワーク設定をリポートし、新しい設定を適用する	NET RB	[SUCCESS]Set Network Reboot and Apply New Config.	-
本機の Telnet 通信ポートを設定する ※3	NET TN xxxx	[SUCCESS]Set telnet port to [xxxx].	xxxx=[ポート番号] ※初期設定値=0023

- ※1 新しいネットワーク設定を適用するにはコマンド: NET RB でネットワーク設定をリポートする必要があります。
- ※2 本機の IP アドレス、ゲートウェイ、サブネットマスクを設定する前に、本機の DHCP 機能を無効にする必要があります。
- ※3 本機を、Telnet 通信を行う機器側の設定に合わせ、本機の Telnet 通信ポートを変更し、ご利用ください。

Windows PC での Telnet 通信を行う前の設定

本機を PC で制御する際に問題が発生した場合は、以下の手順で操作を試してください。
(Windows10 の操作を例に説明します。)

1. PC を本機の LAN 端子に DHCP 機能対応ルーターを経由し、LAN ケーブルで接続します。
2. サードパーティ制御システムと本機が通信する環境を再現するために、PC の IP アドレスを本機の IP アドレスと同じセグメントに設定してください。(「[PC の設定 - IP アドレス固定方法](#)」をご参照ください。)
3. コマンドプロンプト ‘cmd.exe’ を立ち上げます。



4. コマンドプロンプトに次のコマンドを入力します。“Telnet ‘+ ’本機の IP アドレス”
例: Telnet 192.168.0.200 (本機の IP アドレスは RS-232 コマンド ‘STATUS’ の応答で確認できます。詳細は本書[【RS-232 コマンド】](#)を参照してください。)

下記のレスポンスコードが表示される場合、本機との接続が確立していることを示します。

```
=====
Welcome To MX44VW Terminal Control System
FW Version: 2.21
Type "HELP" For More Information
=====
MX44VW>
```

Telnet 通信エラー

下記のメッセージが表示される場合は、PC は本機と接続が確立されていないことを示します。
‘telnet is not recognized as an internal or external command, operable program or batch file’

Telnet 通信エラーになる場合、下記の対策方法を試してください。

LAN 端子の IP アドレスが検知できない場合

LAN 端子の IP アドレスを検知できない場合は、DHCP モデムルーター経由ではなく、ネットワークスイッチに直接接続してください。

LAN 端子の IP アドレスは検知できるが、Telnet 通信が行えない場合

LAN 端子の IP アドレスを検知できない場合は、DHCP モデムルーター経由ではなく、ネットワークスイッチに直接接続してください。

上記の方法で Telnet 通信が確立されない場合は、PCのTFPT&Telnet を有効に設定してから、再度 Telnet 通信を試してください。(「[PC の設定 - TFPT & Telnet を有効にする](#)」をご参照ください。)

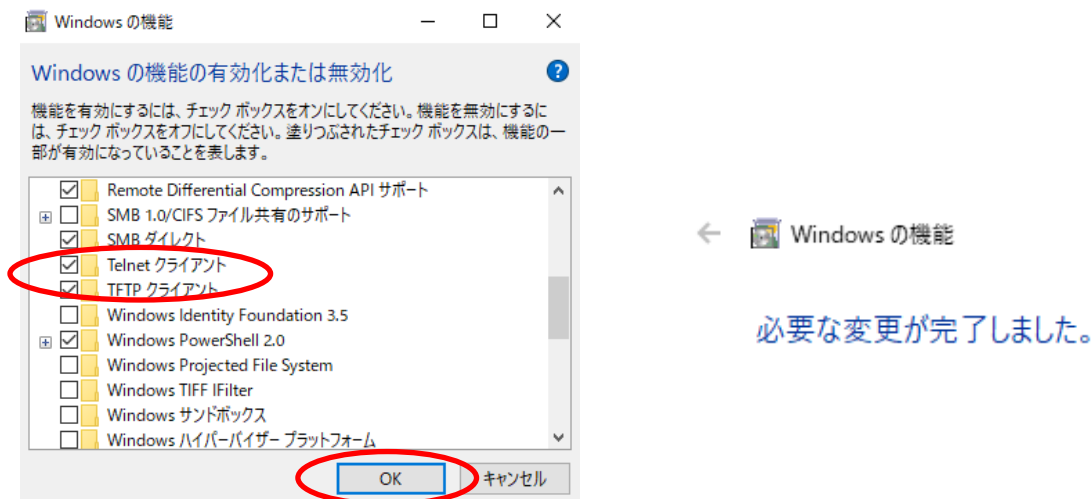
PC の設定 - TFTP & Telnet を有効にする

本機を Telnet でシリアル通信を行う前に、PC の TFTP と Telnet の両方の機能を有効に設定する必要があります。以下手順に従い TFTP と Telnet 機能を有効にしてください。(Windows 10)

1. PC のコントロールパネルを起動し、プログラム→プログラムと機能 の順に選択します。
2. 画面左側にある ‘Windows の機能の有効化または無効化’ を選択します。



3. ‘Windows 機能’ ポップアップ画面内の ‘Telnet Client’ 及び ‘TFTP Client’ にチェックを入れ、‘OK’ を選択します。



PC の設定 – IP アドレスの固定方法

本機との通信を確立するには、ご利用の PC の IP アドレスを本機の LAN 端子と同じ IP セグメントに設定されている必要があります。

初期 IP アドレス: 192.168.0.200

本機の IP アドレスは RS-232 コマンド 'STATUS' の応答で確認できます。また、取得した動的 IP アドレスは DHCP 無効に設定した後も、静的 IP として引き継がれます)

PC の IP アドレス変更方法

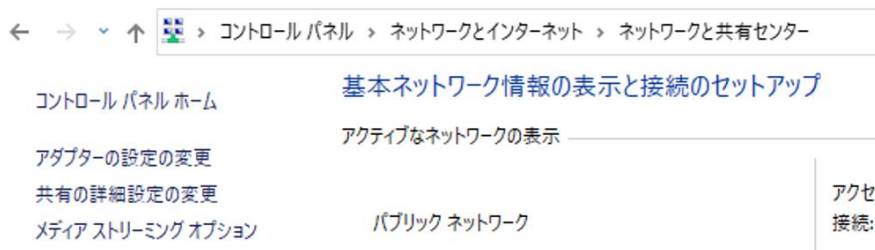
1. Windows ツールバーから 'コントロールパネル' を選択します。
2. 'ネットワークインターネット' を選択します。



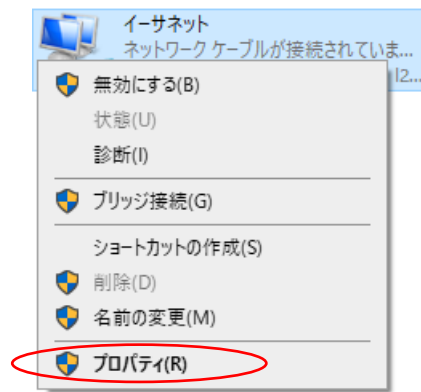
3. 'ネットワークの状態とタスクの表示' を選択します。



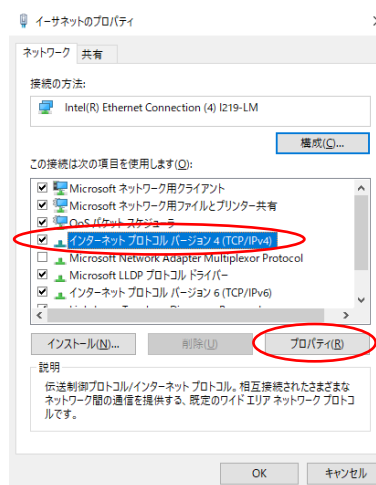
4. 'アダプターの設定の変更' を選択します。



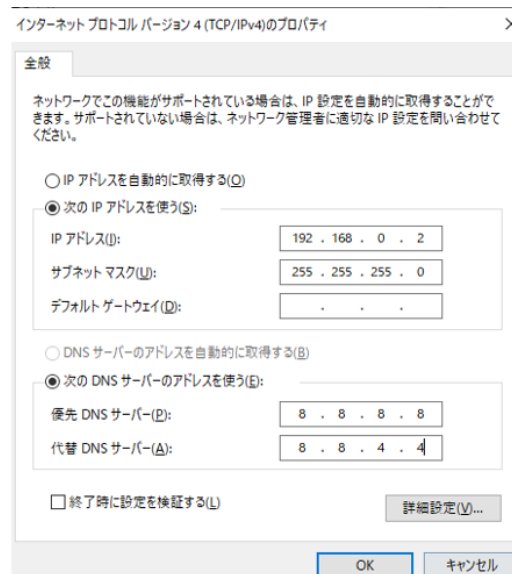
5. 'イーサネット' を右クリックし、'プロパティ' を選択します。



6. 'インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)' を選択し、'プロパティ' を選択します。



7. '次の IP アドレスを使う' にチェックを入れ、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。'OK' → 'OK' の順に選択すると、新しい設定が適用されます。



FAQ よくある質問

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、まず、以下の点をご確認ください。

確認しても問題が解決しない場合は、お買い上げ販売店または、弊社サポートセンターにお問い合わせください。

電源が入らない

本機背面の主電源スイッチはオンになっているかご確認ください。AC アダプター本体と電源ケーブル、もしくは本機背面の電源入力端子と DC プラグがしっかり差し込んであるかご確認ください。

映像が入力されない、出力されない

本機の対応するフォーマットではない映像を入力されている可能性がありますので、入力映像のフォーマットと本機の対応するフォーマットを確認してください。

4K映像が入力されない、出力されない

PC に PC 設定専用アプリケーションをインストール後、本機と RS-232 接続し、ご利用される4Kチャンネル機器に対応する EDID ファイルを本機へ読み込保存しないと出力されない仕様となっております(詳しくは本書「[PC設定専用アプリケーション](#)」をご参照ください)。

出力映像が砂嵐のようになっている

映像信号が正常に送受信できていない可能性があります。映像ケーブルを差し直す、もしくは各映像機器の電源を一旦切り入りしてください。

IR リモコンで操作しても反応しない

本機の IR 制御を無効に設定していないかご確認ください(確認方法は本書「[本機のステータス確認](#)」をご参照ください)。

本機の IP アドレスがわからない

本機とPCを RS-232 接続し、ステータスコマンドを送信すると IP アドレスが取得できます。詳しい操作方法は本書「[RS-232 コマンド](#)」を参照してください。

HDMI 入力より DVI 信号を入力した時、音声を出力したい

本機の入力 EDID 設定メニューで、該当する入力チャンネル(HDMI1/2/3/4)の EDID をDVIに設定後、本機背面の該当する音声入力端子(L/R 1~4)に音声信号を入力すると音声が出力されます(※DVI 信号入力時のみ可能です)。

ビデオウォールモード時、IR 信号が送信されない

ビデオウォールモード時、選択した映像入力(1/2/3/4 のいずれか)に相対する IR 信号送信ケーブル接続端子(1/2/3/4 のいずれか)のみ IR 信号が送信されます(例:映像入力1を選択時は、IR 信号送信ケーブル1接続端子からのみ IR 信号が送信されます)。

主な仕様

型番	MX44VW	
最大伝送帯域	10.2Gbps	
HDR	非対応	
CEC	非対応	
ARC	非対応	
HDCP	1.4	
EDID	本体 MENU ボタン、付属 IR リモコン、ウェブ GUI、RS-232 にて設定	
最大対応 入力解像度	HDMI	3840x2160 @30Hz 4:4:4 / 4096x2160 @24Hz 4:4:4 /※1
	VGA	1920x1200 60Hz
出力解像度	1080p60Hz(固定)	
音声チャンネル	PCM 2ch(入力・出力)	
IR パススルー	対応(双方向)	
入力端子	映像	HDMI タイプ A x4 VGA D-sub 15ピン x4
	音声	3.5mm ステレオミニジャック x4 ※2
出力端子	映像	HDMI タイプ A x4
	音声	-
その他端子	3.5mm ステレオミニジャック x5 (IR 受信ケーブル用) 3.5mm モノラルミニジャック x4 (IR 送信ケーブル用)	
外形寸法(WxDxH)	440mm x 180mm x 45mm (突起物を除く)	
本体重量	約 2,800g	
動作温度	0℃～40℃	
保存温度	-20℃～60℃	
動作/保存湿度	10% ~ 90%(結露なきこと)	
入力電源	DC 12V / 3A	
消費電力	最大 17W	
同梱物	本体 x1 / IR リモコン x1 / IR 受信ケーブル x5 / IR 送信ケーブル x4 / 3.5mm ステレオ～モノラルピンケーブル(IR コントロール用) x1 / AC アダプター x1 / 電源ケーブル x1 / 専用ラックマウントブラケット x2(ネジ x8 本付き) / 注意事項・保証書 x1	
適合認証	FCC/CE/PSE(AC アダプター)/RoHS	
保証期間	ご購入から 3 年間	

※1 これらの 4K 入力解像度は、パソコンに PC 設定専用アプリケーションをインストール後、本機と RS-232 で接続して EDID ファイルを読み込保存しないと使用できません。

※2 3.5mm ミニジャック端子から入力される音声は、VGA を選択すると出力されます。

※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ 記載されているソフトウェア名・製品名・サービス名などは各社の商標、または登録商標です。

※ 全ての機器との動作を保証するものではありません。

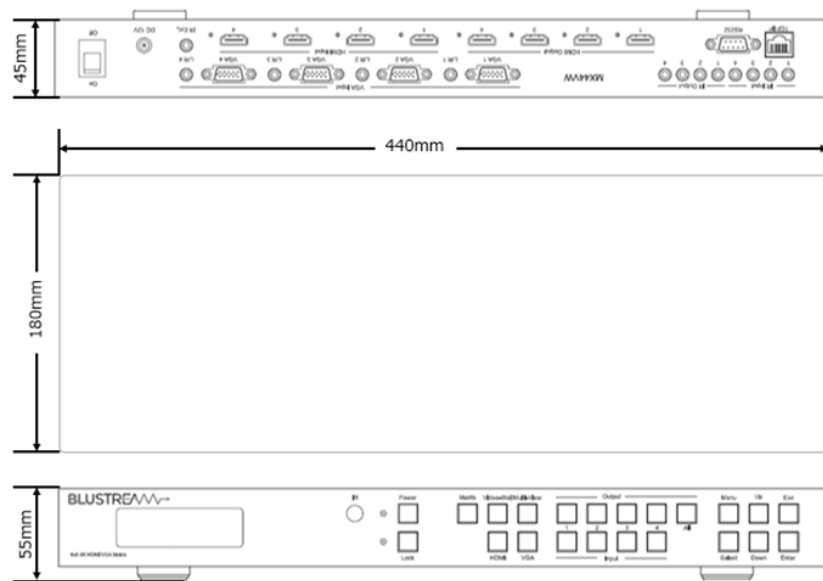
※ 外観、および各仕様につきましては予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。

※ 画像は全てイメージです。

初期設定値

カテゴリー	項目	初期設定値
入力	入力 1/2/3/4 端子	HDMI
	入力 1/2/3/4 EDID	HDMI 1080p@60Hz, Audio 2CH PCM
出力	出力 1/2/3/4 フォーマット	1080p60Hz 2CH PCM(変更不可)
動作モード	動作モード	マトリックスモード
制御	IR 制御	有効
	キーロック	無効
	前面ディスプレイ常時表示	無効
	操作音	無効
マトリックスモード	各出力に割り当てている 入力チャンネル	出力 1:入力 1 出力 2:入力 2 出力 3:入力 3 出力 4:入力 4
ビデオウォールモード	レイアウト	2x2
	各ウィンドウのベゼル設定	各ウィンドウ上下左右のベゼル設定は全部 0 に設定
	出力映像・音声	入力 1 チャンネルの映像・音声
マルチビューモード	レイアウト	レイアウト 0(4 分割)
	出力映像	ウィンドウ 1
	出力音声	ウィンドウ 1 の音声(FollowOut1)
RS-232 通信	ボーレート	57600
	データビット	8 ビット
	パリティ	なし(None)
	ストップビット	1 ビット
	フローコントロール	なし(None)
	Telnet 通信ポート	23
ネットワーク設定	DHCP	有効
	静的 IP アドレス	192.168.0.200(取得した動的 IP アドレスは DHCP 無効に設定した後も、静的 IP として引き継が れます)
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ゲートウェイ	192.168.0.1

外形寸法



サポート専用問い合わせ先

お問い合わせの前に・・・「FAQ よくある質問」をご参照ください。

www.ad-techno.com/support/info/faq/

それでも解決しない場合：

製品のお問い合わせ： www.ad-techno.com/support/info/contact/

修理のご相談： www.ad-techno.com/support/service/contact/

お問い合わせの際は以下内容をご確認ください。

- ・弊社製品の型番及びシリアル番号
- ・ご質問内容(症状など)

注意

本製品のサポートは日本国内での対応となります。国外での使用に関して発生した不具合に関してはいかなる責任も負いかねます。

また日本国外からの問い合わせ、技術サポートは行っておりません。